

図書だより

H26. 3. 10

セレクト読み聞かせ、3月の一番人気は？

3月のセレクト読み聞かせで一番人気だったのは、高学年向けの「食べ物と友だちになろう」でした。今年度最後の読み聞かせなので、卒業生の感想を紹介します。

●食べ物が体の中ですごく小さくなっていてすごいと思った。前に1回習ったので良い復習になって良かったと思った。(6年新谷 剛史)



●「食べ物と友だちになろう」この本を読んでもらって、食べ物が体の中でどんなふうに消化されるのか改めてよく分かった。こらからは、好ききらいがなくなるようにしたい。(6年上野 真愛)

●体は、いろいろな物をとかして吸収していくことが分かった。体は、すごいと改めて思った。(6年濱谷 響)

●サンドイッチを食べてから、どのように消化されるかがとても分かりやすかったです。食のピラミッドという言葉をおぼえておきたいです。(6年干場 ほのか)

＜おすすめの本＞ 3月は、教頭先生のお薦めの1冊です。

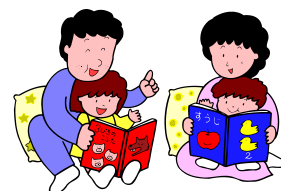


私には「ええ所」なんて一つもないと悩んでいたあいちゃんに、ともちゃんは「あいちゃんの手、ものすごく温かい。」と、あいちゃんのいいところを教えてあげます。そこであいちゃんは、うれしくなってみんなの冷たくなっている手を両手でにぎって温めてあげました。ところが、みんなの手を温めてあげた代わりに、あいちゃんの手は冷たくなり、(どないしょう。あつというまにわたしのええところがなくなってしまった。)と泣いてしまいます・・・。

自分のいいところを見つけられずにいる子は、少なくありませんが、どの子にもきっと必ずいいところがあります。そこに気付かせてくれたのがお友達ならこんなうれしいことはありませんね。心が温かくなる絵本です。ぜひ読んでみてください。

1年間、ご協力有難うございました。

本年度もお忙しい中、毎月子どもたちと一緒に家族読書の時間をもって頂いて本当に有難うございました。また、朝の読み聞かせや昼休みのお話会をしてくださったボランティアの四方さん・西谷内さんには、大変お世話になりました。



今後とも、学校の読書活動推進にご理解、ご協力下さいますようお願いいたします。